

2014年  
4月中国四国農政局  
山口地域センター

# News Letter

## 女性パワー全開で農業に取り組む!!

### 若者の就農定着へ法人化



藤田代表（左）と娘さん達

農事組合法人21世紀フラワーファームは、農業が盛んな山口県下松市にあります。

異業種から新規参入した藤田シゲ子代表を中心に、女性4人が山間部に位置する小区画の耕作放棄地を再生し、6次産業に取り組んでいます。

藤田代表が農業を始めたのは16年前。もともと花が好きだったこともあり、ユリを中心とした施設栽培を皮切りに、2008年には現在の来巻（くるまき）地区に移り、自ら重機を操りながら徐々に栽培面積を拡大し、新たに野菜、果樹、小麦の栽培を開始しました。

2011年9月には、若い人が農業を魅力ある職業として選択してもらえるように自らがリーダーとなって農事組合法人を設立。

「収益を確保しなければ、後継者が育たない」と、さらなる経営規模の拡大と収益の向上に奮闘されています。

### 6次産業の取組



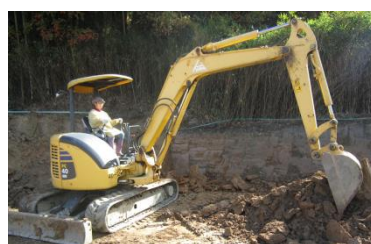
現在、2.5haにユリ、スターチス等の花き、アスパラガス、ブルーベリー、小麦を栽培。

ドライフラワーやシフォンケーキ等の農産物の加工・販売のほか、次世代の若者の育成のためにセミナーハウス（宿泊施設）を建設し、都市住民や近隣農家等を対象にした料理教室やドライフラワー教室の定期的な開催、ブルーベリーの摘み取りなど観光農園に力を入れています。

女性の視点を活かし、利益追求だけでなく、健康や環境に優しい農産物の生産・加工に取り組み、シフォンケーキは「くるまきシフォンケーキ」として「周南ものづくりブランド」に認定されています。



カサブランカ



見事な重機操作!!



くるまきシフォンケーキ



ブルーベリーの摘み取り

### 今後の取組

法人は、人・農地プランの中心経営体に位置づけられ、集落から耕作できない農地の受け皿として期待されているほか、ブルーベリーだけでなく、りんごや柿などの栽培品目の拡大・新たな商品開発・農家レストランの経営等を目指しており、元気な女性達のチャレンジによって更なる地域の活性化が期待されています。

## トピックス

### 「大学生を対象とした農林漁業体験活動を伴う意見交換会」を実施



いわしの三枚おろしにチャレンジ

山口地域センター及び唐戸魚食塾は3月15日、下関市の唐戸市場において食文化を担う若い世代を対象に、世界に誇れる我が国の食文化を理解し後世へ伝えていくきっかけ作りとなることを目的として「大学生を対象とした農林漁業体験活動を伴う意見交換会」を開催し、大学生19名が参加しました。

はじめに、唐戸魚食塾の紹介、「魚が食卓に届くまで」の講義、唐戸市場の見学のほか、唐戸魚食塾企画員の今井龍弘氏の指導による魚を使った日本型食生活メニューの昼食作りを行い、参加者に魚料理の知識と魚のさばき方（いわしの三枚おろし）を体験してもらいました。

最後に、今回の体験を通じて「気づいたこと、感じたこと、未来に伝えたいと思う食文化」等についてグループ討議を行い、グループ毎に「私達は、和食のおいしさを未来に伝えます。」、「私達は、四季の和食を未来に伝えます。」など『私達の宣言』を発表してもらい、全体で意見交換を行いました。その中で、「今の若い世代に日本の食文化が伝わっていないのは、その上の世代の責任。大人の世代がまずきちんと食生活を見直し、伝える努力をしないといけない。」といった意見が出されました。

### 「消費者団体等懇談会・情報交流モニター交流会」を実施

山口地域センターは平成26年3月17日、山口地域センター（惣太夫庁舎）において「消費者団体等懇談会・情報交流モニター交流会」を開催しました。

はじめに、丸川地域センター次長が「農林水産業・地域の活力創造プラン」や「食料・農業・農村基本計画の見直し」等について説明を行い、その後、「食品表示の現状について」情報提供を行いました。

意見交換では、出席者から「食品表示法に一本化して分かりやすい表示にしてほしい。食品ロスが出ないような工夫も必要。」、「食品加工の栄養成分表示について食塩換算相当量を義務化してほしい。」などの意見・要望がありました。



活発な意見交換

## インフォメーション

### 新たな食料・農業・農村基本計画の検討における御意見・御要望の募集について

食料・農業・農村基本計画は、食料・農業・農村基本計画法に基づき、今後10年程度を見通した農政の中長期的なビジョンを示すもので、概ね5年ごとに見直しています。

見直しについては食料・農業・農村政策審議会において審議が開始されておりますが、透明で開かれたプロセスとする観点から、以下のとおり国民の皆様からの御意見・御要望を広く募集し、今後の審議会における議論に活用したいと考えています。

※意見・要望の募集は3回に分けて行います。今回は第1回目のご案内です。

○募集内容：基本計画の見直しに着手したことを踏まえた、基本計画全般について

○募集の締切：平成26年4月30日 17:00必着

※詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo02/140226.html>

